

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 28 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名： 0 歳児からの口腔機能育成事業</p>
<p>2. 申請者名： 一般社団法人愛知県歯科医師会 会長 渡邊正臣</p>
<p>3. 実施組織： 【主催】(一社)愛知県歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要： 8020 達成型社会イメージ図が妊婦、つまり胎児期からスタートしている事は、歯科医療の関わりが、ライフステージの基盤となるスタート時期こそ最も重要と捉えていると考えられる。このため、むし歯や歯周病の予防知識に加え、正しい顎位で支える体幹育成や離乳食指導などを通じた口腔機能の育成、生活習慣の確立など、歯が萌出していなくとも歯科として関わり指導するための知識を啓発するため、講演会を開催するとともに一般向けリーフレットを作成し、配布した。</p>
<p>5. 事業の内容： 1) 歯医者さんと一緒に見守る「赤ちゃんのお口の育ち」リーフレットの配布 摂食に関わる機能発達が著しい乳幼児期に、摂食嚥下の指導を受ける事は、豊かな食生活を送るための基礎となるが、この取り組みについてほとんど行われていないのが現状である。このため保健所・保健センター、会員診療所等を通して啓発するための一般向けのリーフレット歯医者さんと一緒に見守る「赤ちゃんのお口の育ち」を作成し、配布した。 2) 0 歳児からの口腔機能育成講演会「知っておきたい！赤ちゃんからのお口の発育アドバイス」の開催 (1) 実施日時：2017 年（平成 29 年）3 月 12 日（日曜日） (2) 開催場所：愛知県歯科医師会会館 2 階「歯〜とびあホール」 (3) 目的：身体の成長発育、口腔に関わる機能発達が著しい乳幼児期に、歯科医療機関で指導を受ける事は、生涯にわたり豊かな食生活を送るための基礎となる。こうしたことから、歯が萌出していなくとも、正しい顎位で支える体幹育成や離乳食指導などを通じた口腔機能育成、乳幼児期における口腔の発育と食育をテーマに講演会を企画開催し、多数の参加者があった。 (4) 対象者：愛知県民・県内幼稚園・保育園教諭・行政関係者及び県歯会員 講演 1：「子どもの食生活と栄養」 講師：相模女子大学 健康栄養学部 健康栄養学科 教授 堤 ちはる 先生 講演 2：「食べるためのお口とからだ」 講師：愛知県歯科医師会 地域保健部 I 今泉三枝先生 講演 3：「じょうずに食べてる？ 幼児のお口のはなし」 講師：愛知県歯科医師会 地域保健部 I 加藤教授先生 参加者数：244 名</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：乳幼児期における口腔の発育と食育を啓発していくことは、歯科医療従事者としての責務と考えられることから、今後郡市区における研修会の開催、歯科医師会員への研修等をおこない、助産師、保育士等とも連携することにより、本取り組みを普及浸透させていくことが必要である。</p>